

令和 8 年度第 1 回^もり森林の未来を考える懇談会資料

令和 7 年度森林環境基金事業の 実績について

令和 8 年 7 月 2 7 日

福島県農林水産部森林計画課

令和7年度森林環境基金事業の枠組(実績)

福島県森林環境税 税収額 11.80億円 (11.77億円)
【個人事業者・給与所得者 9.65億円 法人 2.15億円】

基金繰入額 10.97億円 (10.95億円)

県・市町村の徴収取扱費(税収の7%)
0.83億円 (0.82億円)

森林環境基金 14.51億円 (14.67億円)
【繰入額 10.97億円 + 前年度末残高 3.54億円】

基金充当 10.85億円 他財源の活用 0.07億円
令和7年度事業費 10.92億円 (11.22億円)

県事業 8.34億円 (8.66億円)
【基金充当額 8.27億円、その他財源 0.07億円】
事業割合 事業費ベース 76.4% (77.2%)
基金充当額ベース 76.2% (77.1%)

もり
**森林の未来を考える
懇談会**
意見・事業評価

市町村事業 2.58億円 (2.56億円)
【基金充当額 2.58億円、その他財源 0.00億円】
事業割合 事業費ベース 23.6% (22.8%)
基金充当額ベース 23.8% (22.9%)

令和7年度森林環境基金事業の枠組(実績)		令和7年度森林環境基金事業の枠組(実績)	
森林環境を保全するための事業 741,773千円 (761,934千円)	森林づくりの意識を醸成するための事業 92,628千円 (104,016千円)	森林環境を保全するための事業 69,100千円 (60,269千円)	森林づくりの意識を醸成するための事業 188,587千円 (195,325千円)
1 森林環境の適正な保全 636,963千円 (593,367千円) ・「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域での森林整備を支援 ・里山林の整備と野生動物や森林病害虫の被害抑制を支援 ・花粉症対策品種の種子確保及び苗木の供給 ・森林クラウド・ふくしま森まっぶの運用 2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり 104,810千円 (168,567千円) ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減とバイオマスエネルギー利用の普及支援 ・木育の機会の創出及び木育を推進する人材の育成 ・木材利活用拡大に向けた新たな可能性への取組 ・建築物の木造化・木質化の推進	3 県民参画の推進 80,974千円 (86,080千円) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備 ・指導者の育成や森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・森林ボランティアや企業による森林づくり活動の支援 ・県立学校における森林環境学習等 ・幼少期や青年期を対象とした森林環境学習等 ・流域の交流等様々な形で森林の理解を深める取組 ・森林環境情報の発信や森林環境税のPR ・ふくしま植樹祭の開催 5 ふくしまの森林文化の継承 11,101千円 (13,063千円) ・県内の森林文化の継承に向けた記録と体験の取組 ・桐や漆、きのこ等に係る地域の産業振興 6 森林環境基金の運営 553千円 (4,873千円) ・森林の未来を考える懇談会の開催	4 森林環境交付金事業 (2) 地域提案重点枠 69,100千円 (60,269千円) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他 4 森林環境交付金事業 (1) 森林環境基本枠 188,587千円 (195,325千円) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進	

注: () 書きの金額及び割合は令和6年度実績

令和7年度森林環境基金充当事業一覧表（実績）

（事業区分別）

単位：千円

施 策 区 分		担当課 （室）	令和 7 年度事業実績			令和 7 年度事業計画（当初）			増 減			基金繰入	備 考
事 業 名（ 小 事 業 名 ）			計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳		対計画比 (a)/(b)	
				基金繰入金(a)	国庫等		基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等		
1 森林環境の適正な保全			636,963	629,519	7,444	643,525	636,070	7,455	△ 6,562	△ 6,551	△ 11	99.0%	
	(1) 森林整備事業		544,858	544,858		549,882	549,882		△ 5,024	△ 5,024		99.1%	
		（森林機能向上事業）	162,670	162,670		169,504	169,504		△ 6,834	△ 6,834		96.0%	
		（森林機能維持事業）	382,188	382,188		380,378	380,378		1,810	1,810		100.5%	
	(2) 里山林整備事業		64,185	64,185		65,400	65,400		△ 1,215	△ 1,215		98.1%	
		（里山林整備事業）	40,645	40,645		40,800	40,800		△ 155	△ 155		99.6%	
		（里山林保全対策事業）	23,540	23,540		24,600	24,600		△ 1,060	△ 1,060		95.7%	
	(3) 森林環境適正管理事業		5,842	5,842		6,012	6,012		△ 170	△ 170		97.2%	
		（森林情報(クラウド)活用推進事業）	5,842	5,842		6,012	6,012		△ 170	△ 170		97.2%	
	(4) 花粉の少ない森林づくり事業		22,078	14,634	7,444	22,231	14,776	7,455	△ 153	△ 142	△ 11	99.0%	
		（花粉の少ない森林づくり推進事業）	8,094	8,069	25	8,617	8,594	23	△ 523	△ 525	2	93.9%	
	（花粉症対策品種等種子確保対策事業）	4,096	4,093	3	3,714	3,707	7	382	386	△ 4	110.4%		
	（花粉の少ない森林づくりモデル事業）	9,888	2,472	7,416	9,900	2,475	7,425	△ 12	△ 3	△ 9	99.9%		
2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり			104,810	104,810		111,479	111,479		△ 6,669	△ 6,669		94.0%	
	(5) 間伐材搬出支援事業		14,640	14,640		14,640	14,640					100.0%	
		（林内作業路整備支援事業）	14,640	14,640		14,640	14,640					100.0%	
	(6) 森林整備促進路網整備事業		8,400	8,400		8,400	8,400					100.0%	
		（森林整備促進路網整備事業）	8,400	8,400		8,400	8,400					100.0%	
	(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		65,776	65,776		69,703	69,703		△ 3,927	△ 3,927		94.4%	
		（間伐材等二酸化炭素削減支援事業）	20,000	20,000		20,000	20,000					100.0%	
		（木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業）	4,503	4,503		4,503	4,503					100.0%	
		（ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業）	38,473	38,473		42,400	42,400		△ 3,927	△ 3,927		90.7%	
		（ふくしま木の家・担い手応援事業）	2,800	2,800		2,800	2,800					100.0%	
	(8) 木づかい社会づくり促進事業		15,828	15,828		17,991	17,991		△ 2,163	△ 2,163		88.0%	
		（木とのふれあい創出事業）	6,803	6,803		7,672	7,672		△ 869	△ 869		88.7%	
		（木材製品需要拡大技術導入事業）	8,513	8,513		9,200	9,200		△ 687	△ 687		92.5%	
		（JAS材供給体制整備支援事業）	512	512		1,119	1,119		△ 607	△ 607		45.8%	
	(9) ふくしま木造化・木質化推進事業		166	166		745	745		△ 579	△ 579		22.3%	
		（ふくしま木造化・木質化推進事業）	166	166		745	745		△ 579	△ 579		22.3%	

施 策 区 分		担当課 (室)	令和7年度事業実績			令和7年度事業計画（当初）			増 減			基金繰入 対計画比 (a)/(b)	備 考
			計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳			
基金繰入金(a)	国庫等			基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等					
3	県民参画の推進		82,787	80,826	1,961	100,171	97,474	2,697	△ 17,384	△ 16,648	△ 736	82.9%	
	(10) 林業普及推進事業		10,021	8,095	1,926	10,780	8,118	2,662	△ 759	△ 23	△ 736	99.7%	
	（普及推進事業）	森林計画課	10,021	8,095	1,926	10,780	8,118	2,662	△ 759	△ 23	△ 736	99.7%	
	(11) 森林環境学習の森整備事業		1,601	1,601		7,629	7,629		△ 6,028	△ 6,028		21.0%	
	（森林学習フィールド整備事業）	森林計画課	1,601	1,601		7,546	7,546		△ 5,945	△ 5,945		21.2%	
	（全国植樹祭記念の森整備事業）	森林計画課	0	0		83	83		△ 83	△ 83		0.0%	
	(12) 森林づくり総合対策事業		34,457	34,457		39,014	39,014		△ 4,557	△ 4,557		88.3%	
	（未来へつなげよう豊かな森林づくり事業）	森林計画課	32,038	32,038		36,406	36,406		△ 4,368	△ 4,368		88.0%	
	（みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業）	森林計画課	2,419	2,419		2,608	2,608		△ 189	△ 189		92.8%	
	(13) 県立学校における森林環境学習推進事業		2,265	2,265		3,000	3,000		△ 735	△ 735		75.5%	
	（県立学校における森林環境学習推進事業）	高校教育課	2,265	2,265		3,000	3,000		△ 735	△ 735		75.5%	
	(14) 森林とのきずな事業		14,239	14,204	35	15,834	15,799	35	△ 1,595	△ 1,595		89.9%	
	（森林環境情報発信事業）	森林計画課	13,348	13,313	35	14,634	14,599	35	△ 1,286	△ 1,286		91.2%	
	（若者の森林自己学習支援事業）	森林計画課	891	891		1,200	1,200		△ 309	△ 309		74.3%	
	(15) 森林・水循環推進事業		854	854		2,017	2,017		△ 1,163	△ 1,163		42.3%	
	（森林・水循環推進事業）	土地水対策室	854	854		2,017	2,017		△ 1,163	△ 1,163		42.3%	
	(16) ふくしま植樹祭開催事業		13,446	13,446		15,942	15,942		△ 2,496	△ 2,496		84.3%	
	（ふくしま植樹祭開催事業）	森林計画課	13,446	13,446		15,942	15,942		△ 2,496	△ 2,496		84.3%	
	(17) 森林環境教育支援事業		1,874	1,874		1,874	1,874					100.0%	
	（森林環境教育支援事業）	森林計画課	1,874	1,874		1,874	1,874					100.0%	
	(18) ふくしまの生物多様性保全支援事業		4,030	4,030		4,081	4,081		△ 51	△ 51		98.8%	
	（森林等の生物多様性調査発信事業）	自然保護課	4,030	4,030		4,081	4,081		△ 51	△ 51		98.8%	
4	市町村が行う森林づくり等の推進		257,687	257,687		318,739	318,739		△ 61,052	△ 61,052		80.8%	
	(19) 森林環境交付金事業		257,687	257,687		318,739	318,739		△ 61,052	△ 61,052		80.8%	
	（森林環境基本枠）	森林計画課	188,587	188,587		203,024	203,024		△ 14,437	△ 14,437		92.9%	
	（地域提案重点枠）	森林計画課	69,100	69,100		115,715	115,715		△ 46,615	△ 46,615		59.7%	
5	ふくしまの森林文化の継承		11,101	11,101		11,504	11,504		△ 403	△ 403		96.5%	
	(20) ふくしまの森林文化継承事業		11,101	11,101		11,504	11,504		△ 403	△ 403		96.5%	
	（ふくしまの森林文化継承事業）	森林計画課	4,018	4,018		4,094	4,094		△ 76	△ 76		98.1%	
	（森からエール！めぐみ再発見事業）	林業振興課	7,083	7,083		7,410	7,410		△ 327	△ 327		95.6%	
6	森林環境基金の運営		553	553		4,223	4,223		△ 3,670	△ 3,670		13.1%	
	(21) 森林環境基金運営事業		355	355		3,955	3,955		△ 3,600	△ 3,600		9.0%	
	（森林の未来を考える懇談会運営事業）	森林計画課	315	315		1,215	1,215		△ 900	△ 900		25.9%	
	（福島県森林環境税に関する声を聴く事業）	森林計画課	40	40		2,740	2,740		△ 2,700	△ 2,700		1.5%	
	(22) 森林審議会		198	198		268	268		△ 70	△ 70		73.9%	
	（森林審議会）	森林計画課	198	198		268	268		△ 70	△ 70		73.9%	
合 計			1,093,901	1,084,496	9,405	1,189,641	1,179,489	10,152	△ 95,740	△ 94,993	△ 747	91.9%	
森林環境基金			1,093,901	1,084,496	9,405	1,189,641	1,179,489	10,152	△ 95,740	△ 94,993	△ 747	91.9%	
積立予算													
	(23) 森林環境基金		1,093,382	1,093,382		1,062,396	1,062,396		30,986	30,986		102.9%	
	（森林環境基金）	森林計画課	1,093,382	1,093,382		1,062,396	1,062,396		30,986	30,986		102.9%	

令和 7 年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林(以下、水源区域等)において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を支援する。

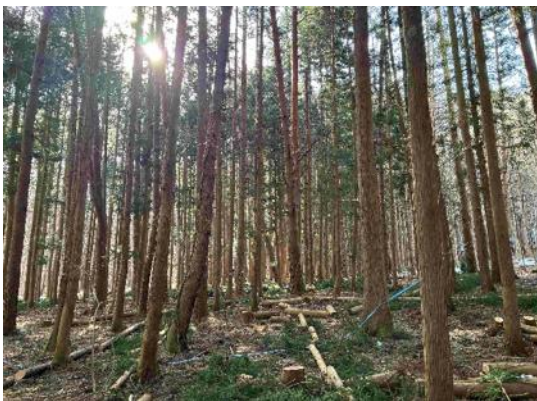
○令和 7 年度実績

ア 森林機能向上事業

南会津町ほか 14 市町村 間伐 345ha (R6 実績：432ha)
林業事業体による水源区域等で荒廃が懸念される森林の整備を支援した。

イ 森林機能維持事業

いわき市ほか 21 市町村 再造林等 190ha(再造林等 76ha、一貫作業システム 114ha)
(R6 実績：再造林等 142ha(再造林等 55ha、一貫作業システム 87ha)
林業事業体による水源区域等における再造林や下刈りを支援した。



森林機能向上事業(間伐施工後)



森林機能維持事業
(一貫作業システム(伐採))

○累計実績(平成 18～令和 7 年度)

- ・森林機能向上事業 2,830ha、350m (R3～R7)
- ・森林機能維持事業 630ha (R3～R7)
- ・森林資源造成支援事業 264ha (H28～R2)
- ・森林整備事業 20,919ha (H18～H27) 15,911ha H28～R2 5,008ha)
- ・森林整備促進事業 8,350ha (H18～H27)

事業成果

令和 7 年度までに、水源区域等の森林を対象として、32,099ha(猪苗代湖の面積約 3 個分)の間伐を実施した。

水源のかん養や土砂流出防止さらには二酸化炭素吸収源など森林の有する公益的機能の維持増進に寄与した。

また、水源区域等における森林 630ha の一貫作業システム(伐採から再造林)や再造林等を実施したことにより、森林の若返りを図った。

事業概要

里山林において地域住民が行う、野生動物の生息域との間の緩衝帯の整備や森林づくりへの意識の醸成、森林と人との絆の回復を図るための身近な森林の整備を支援する。

また、野生動物や森林病虫害による里山林の荒廃が懸念されるため、被害調査や被害防除技術等の効果実証、防除を目的とした森林整備など、総合的に取り組むことにより、野生動物や森林病虫害による被害を抑制するとともに、里山林の環境を整え住民の森林づくりへの意識醸成を推進する。

○令和 7 年度実績**ア 里山林整備事業**

里山林の整備（緩衝帯整備、景観整備、意識醸成活動） 53 件 102ha（11 市町）
 （R6 実績：45 件 82ha（11 市町））



緩衝帯整備の様子（施工前）



緩衝帯整備後の様子（施行後）

イ 里山林保全対策事業**・森林保全対策**

カシノナガキクイムシ対策等 伐倒駆除 304m³（R6 実績：246m³）
 誘引捕殺 80m³（R6 実績：80m³）
 予防 379 本（R6 実績：537 本）
 （R6 実績：枯損木除去 57 本）

・調査・実証

被害量調査 10 市町村
 被害・生態把握等調査 2 件（県営事業）
 （R6 実績：被害量調査 9 市町村、被害・生態把握等調査 2 件（県営事業））

被害木の伐倒くん蒸による
カシノナガキクイムシ駆除樹幹注入による
カシノナガキクイムシ被害の予防**○累計実績（平成 28～令和 7 年度）****ア 里山林整備事業（平成 28～令和 7 年度）**

里山林の整備（緩衝帯整備、景観整備、意識醸成活動） 累計 484 件 870ha
 （うち R3～R7 278 件 515ha）

イ 里山林保全対策事業（令和 3 ～ 7 年度）

カシノナガキクイムシ対策等 伐倒駆除 1,500m³、誘引捕殺 560m³、予防 2,623 本、
枯損木除去 57 本
ツヤハダゴマダラカミキリ対策 伐倒駆除 4 本

事業成果

令和 7 年度までに、地域住民等延べ 484 団体（29 市町村）が行う緩衝帯整備、景観整備、意識醸成活動（870ha）等に対して支援を行い、獣害対策や森林づくりへの意識醸成につながった。

森林病虫害被害の防除対策として樹幹注入等の予防措置や伐倒駆除等を行った結果、被害の抑制が図られた。

（3）森林環境適正管理事業

【森林計画課】

事業概要

森林情報の管理と業務の効率化、市町村等との情報共有を図るために導入した「ふくしま森林クラウドシステム」及び一般県民向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」等の保守・運用を行う。

○令和 7 年度実績

・森林情報（クラウド）活用推進事業

森林情報を管理する①森林クラウドシステムの保守・運用、②ふくしま森まっぷの運用業務を委託事業により実施した。

ふくしま森まっぷアクセス件数 16,157 件（R6 実績：16,597 件）

○累計実績（平成 18～令和 7 年度）

森林 GIS 開発（H18～H20）

ふくしま森林クラウドシステムの導入（R 元）

ふくしま森まっぷ（H21 公開）

アクセス件数 累計約 1,018 万件（R3～R7：約 363 万件）

事業成果

令和 7 年度までに、福島県森林 GIS 及びふくしま森林クラウドシステムの開発・保守・運用を行ったほか、ふくしま森まっぷにより各種森林情報の発信を行った。これらのシステムや発信された情報は、森林の管理や整備、保全のために活用された。

（4）花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

再生林による森林の再生および県民参画の森林づくり推進のため、少花粉スギ等の花粉症対策に資する苗木を育成し、住民参加型の森林づくり活動の促進を図るとともに、採種穂園の整備等により品質の良い種子を多く確保する。また、水源区域等の民有林において、人工林伐採後、低コスト化を図りながら花粉症対策に資する苗木による植替えをモデル的に行う取組を支援する。

○令和 7 年度実績

ア 花粉の少ない森林づくり推進事業

花粉症対策苗木配布 500 本

苗木育成（挿し付け）3,400 本

林研圃場（郡山市）の実証展示林育成管理 2 箇所
 大信圃場（白河市）にヒノキ特定母樹ミニチュア採種園造成 1 箇所
 （R6 実績：台木植栽 180 本、苗木配布 1,354 本、苗木育成（挿し付け）3,340 本、実証展示林造成 1 箇所）

イ 花粉症対策品種等種子確保対策事業

人工交配 430 本、カメムシ防除対策 620 袋
 （R6 実績：人工交配 676 本、カメムシ防除対策 625 袋）

ウ 花粉の少ない森林づくりモデル事業

人工造林（少花粉スギ等） 16.04ha
 （R6 実績：人工造林（少花粉スギ等） 2.38ha）



少花粉スギ採種園



花粉の少ない苗木の植栽



着花促進（人工交配）



カメムシ対策

○累計実績（平成 23～令和 7 年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備	H23	
少花粉スギ採種園	H26, H30, R1～2	造成 0.38ha
無花粉スギ採種園	H26	造成 0.04ha
特定母樹スギ採種園	H28～R7	造成 0.36ha（R3～R7 0.12ha）
特定母樹ヒノキ採種園	R4～R7	造成 0.08ha
苗木配布	H25～R7	4,637 本（R3～R7 2,736 本）
実証展示林	R5	造成 0.53ha
花粉の少ないスギ苗木による植栽	R6・R7	人工造林 18.42ha

事業成果

令和 7 年度、大信圃場（白河市）にヒノキ特定母樹ミニチュア採種園 0.04ha を造成したほか、花粉の少ないスギ苗木による低コスト造林をモデル的に 16ha 取り組んだ。
 造成した採種園からの種子生産により花粉症対策に資する苗木の本格生産が始まり、県内民有林のスギ人工林において花粉症対策に資するスギ苗木による植替えが図られた。

施策の成果と課題

水源かん養機能や土砂災害防止機能の向上を目的として、令和3年度から令和7年度までに間伐等の森林整備を約4,000ヘクタール実施し、県民生活の向上に大きく寄与した。

また、里山林整備により緩衝帯としての機能が回復するとともに、実施した地区における野生動物の出没が減少して地域住民の安全・安心な生活が確保されたほか、住民の森林整備意識が向上した。

水源区域等には、いまだ荒廃のおそれがある森林が存在し、未整備の森林については公益的機能の低下による災害の発生が懸念されることから、造林や間伐、森林整備に必要な路網等の森林整備に引き続き取り組むとともに、特に森林を循環利用して継続した管理を進めていくため主伐から再造林までの一貫作業にも積極的に取り組むことが必要である。

また、里山林整備により野生動物との緩衝帯としての機能を回復し、地域住民の安全・安心の確保は必要であることから、今後も森林の公益的機能の維持増進に向けて、間伐や再造林、森林整備に必要な路網の整備、森林病虫獣害対策、花粉症発生源対策等が求められる。

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課】

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援する。

○令和7年度実績

・林内作業路整備支援事業

いわき市ほか8市町村 29,280m (R6実績: 30,700m)

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備を支援した(500円/m)。



施工前



施工後

○累計実績(平成18～令和7年度)

間伐材搬出に必要な林内作業路整備
山土場から原木市場までの運搬支援

H18～R7 918,233m (R3～R7 186,282m)
H18～R 元 267,971m³

事業成果

令和7年度までの林内作業路の整備により、これまで搬出が十分に進んでいなかった間伐材搬出が促進され、未利用材として林内に残置されていた間伐材の利用拡大が図られた。

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用による低炭素社会づくりを目指す。

○令和7年度実績

・森林整備促進路網整備事業

下郷町 2,000m (R6 実績: 3,200m)

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林において、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道の開設を支援した(4,200円/m)。



作業路開設

○累計実績(平成23～令和7年度)

耐久性のある作業道の開設 86,222m (R3～R7 20,040m)

事業成果

令和7年度までに、86,222m(猪苗代湖約1.7周分)の作業道が開設され、森林整備と間伐材の搬出が促進された。

このことにより、水源かん養機能・山地災害防止機能の回復と資源の有効活用が図られた。

(7) ふくしまの低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・建築指導課】

事業概要

二酸化炭素など温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止が世界的な課題となる中、森林の適切な整備や森林資源の利活用による取組が注目されており、県民が一体となった低炭素型社会づくりが必要となっている。そこで、林業関係者等に木材の利用推進、森林の未利用資源の活用を進めることにより、低炭素型社会の形成を進めていく。

○令和7年度実績

ア 間伐材等二酸化炭素削減支援事業【林業振興課】

県内木質バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援を実施した。 1,000円/t 20,000t (R6 実績: 1,000円/t 30,000t)

イ 木質バイオマス利用ストーブ普及支援事業【林業振興課】

木質バイオマスエネルギー利用機器の民間における導入支援を行った。

ペレットストーブ14台、薪ストーブ66台、補助額: 5万円/台

(R6 実績: ペレットストーブ17台、薪ストーブ83台、補助額: 5万円/台)

ウ ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業【建築指導課】

構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20～60万円相当の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。

補助実績：115棟（4m3以上8m3未満20棟、8m3以上15m3未満77棟、15m3以上20m3未満8棟、20m3以上10棟、森林認証材加算0棟）

（R6実績：166棟（4m3以上8m3未満36棟、8m3以上15m3未満104棟、15m3以上20m3未満16棟、20m3以上10棟、森林認証材加算0棟））

エ ふくしま木の家・担い手応援事業【建築指導課】

県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等を対象とした技術セミナー等を実施した。

・木造住宅技術セミナー 4回開催 参加者延べ128名（R6実績：5回 143名）

・福島県木造住宅耐震診断技術講習会 1回開催 参加者25名（R6実績：1回 32名）



間伐材積込（林業振興課）



薪ストーブ（林業振興課）



木造住宅技術セミナー（建築指導課）



県産材を活用した住宅（建築指導課）

○累計実績（平成22～令和7年度）

ア 間伐材等二酸化炭素削減支援事業（平成24～令和7年度）

県内木質バイオマスエネルギー利用施設への燃料用間伐材の搬出・運搬支援
447,840 t（R3～R7 140,000 t）

イ 木質バイオマスストーブ普及支援事業（平成23～令和7年度）

木質バイオマス利用ストーブ 1,186台（R3～R7 480台）

（内訳 ペレットストーブ306台、薪ストーブ876台、兼用4台）

ウ ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業（平成25～令和7年度）

補助棟数 1,980棟（うち、R3～R7 749棟）

エ ふくしま木の家・担い手応援事業（平成26～令和7年度）

担い手ネットワーク登録者数 H26～H28 121名

技術力向上に係るセミナー、研修等 H26～R7 65回 参加者2,149名

（うち、R3～R7 29回 参加者949名）

オ 木めぐり探検事業（平成28～平成30年度）

見学体験ツアー H28～H30 11回

参加者 291名

カ 緑の住宅普及支援事業（平成 22～令和元年度）

ふくしま緑の家づくりセミナー	H22 県内 7 方部で実施	参加者 300 名
県産材住宅モデル等の展示	H22～R 元 29 回	
家づくりワークショップ等の開催	H22～R 元 74 回	参加者 3,583 名
ふくしまの住まい作品展	H28 県内 7 方部で実施	参加者 700 名
家づくり講習会	H29～R 元 4 回	参加者 86 名

事業成果

- 令和 7 年度までの間伐材等二酸化炭素削減支援事業・木質バイオマスストーブ普及支援事業により、事業体や個人に対する補助を通じて、木質バイオマスの燃料としての有効利用について、県民の理解が深まった。
- 令和 7 年度までのふくしま木の家・担い手応援事業により、県内の大工・工務店や設計者を対象としたセミナーや技術講習会等を開催し、木造建築に係る自己研鑽の機会が提供され、技術力の向上と伝統技術の継承が図られた。
- 令和 7 年度までのふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業により、1,980 棟の住宅に県産木材が使用され、その施主は、子育て世帯の割合が多く、若い世代で木造住宅の快適さが認知され、県産木材を利用する意義についても意識の醸成が図られた。

(8) 木づかい社会づくり推進事業

【林業振興課】

事業概要

学校教育現場等における木育活動の推進により県民の木材利用に対する意識醸成を図るとともに、木材需要の拡大につながる技術開発や県産材のサプライチェーン構築の支援を通じて木材利用に取り組む社会づくりを促進し、森林資源の循環利用を推し進める。

○令和 7 年度実績

ア 木とのふれあい創出事業

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座やイベント出展での木工工作教室を実施した。また、木育を担う人材育成のため、木育インストラクター養成講座を開催した。そのほか、幼児の木に触れる機会の創出のため、木製遊具を幼保施設に貸し出すモニター事業を実施した。

木工工作用資材配布 83 校、出前講座 20 箇所 22 回

木育インストラクター養成講座 11 人

木製遊具モニター 21 施設

(R6 実績：木工工作用資材配布 85 校 出前講座 8 箇所 13 回 養成講座 15 人

木製遊具モニター 30 施設)

イ 木材製品需要拡大技術導入事業

県産材の需要拡大に向けて、新たな木材利用に係る新技術・新製品の開発や、販路拡大に資する実践的な取組に対して支援を行った。

新技術の開発と販路拡大 計 3 件 (R6 実績：4 件)

ウ JAS 材供給体制整備支援事業

都市（まち）の木造化促進法の施行や建築基準法の合理化等により、公共建築物や中高層建築物における木材利用の環境が整いつつあることから、品質、性能が明確な県産材の供給体制整備のため、JAS 認証取得を支援した。

JAS 認証取得工場 1 件 (R6 実績：2 件)



木工工作教室



木製遊具モニター

○累計実績（平成 23～令和 7 年度）

ア 木とのふれあい創出事業（平成 24～令和 7 年度）

木工工作用資材提供 のべ 1,376 校、出前講座の実施 のべ 149 校、
木育インストラクター養成講座 のべ 77 人
木製遊具モニター のべ 94 施設
（R3～R7 木工工作用資材提供 のべ 434 校、出前講座の実施 のべ 60 校、
木育インストラクター養成講座 のべ 77 人
木製遊具モニター のべ 94 施設）

イ 木材製品需要拡大技術導入事業（平成 28～令和 7 年度）

新技術の開発と販路拡大 31 件（R3～R7 19 件）

ウ JAS 材供給体制整備支援事業（令和 5～令和 7 年度）

JAS 認証取得工場 4 件

エ 県産材サプライチェーン構築支援事業（令和 2～令和 6 年度）

サプライチェーン構築の取組 17 件（R3～R6 14 件）

オ ふくしま県産材でオリンピック応援事業（平成 30～令和 4 年度）

・県産材の大会関連施設等提供	H30～R2 113m ³ （スギ 79m ³ 、ヒノキ 34m ³ ）
・県産材による木製ベンチ大会関連施設等提供	H30～R2 250 脚
・県産材による木製ベンチ提供	R3～R4 402 脚
・県産材によるサイクルスタンド提供	R3～R4 96 基
・再利用シンボルツリー	R3～R4 1 基
・木製プレート	R3～R4 227 個
・鉛筆	R3～R4 15,000 本

カ 木景観形成促進事業（平成 24～令和 2 年度）

民間団体等による県産材を活用した施設整備 32 か所

キ 新「ほっと」スペース創出事業（平成 23～29 年度）

公共建築物等への県産材製品の設置・展示 59 か所

ク CLT 等新技術導入実践事業（平成 27 年度）

実証事業等 2 件

事業成果

・令和 7 年度までの木とのふれあい創出事業により、小学生や中学生における木材利用の意義に対する理解が深まったほか、木育を推進する人材の養成を行い、木材利用に対する理解の向上が図られた。

・令和 7 年度までの木材製品需要拡大技術導入事業により、県産材を用いた新技術・新製品の開発や、販路拡大に資する実践的な取組に対して支援を行い、県産材の利活用や販路拡大に繋がった。

・令和 4 年度までのふくしま県産材でオリンピック応援事業により、関係機関等と連携しながら、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設等へ「ふくしま県産材」を提供し、県内の林業・木材産業の復興を PR した。また、大会終了後、木製ベンチやサイクルスタンド等を県内市町村の公共施設や小中学校等に引き渡し、レガシーとして再利用し、木材利用の意義や持続可能性の理解促進が図られた。

・令和 6 年度までの県産材サプライチェーン構築支援事業により、資源量が増加している県産大径材を活用するためのサプライチェーンが構築された。

事業概要

「ふくしま県産材利用推進会議幹事会」の下に設置する部会での検討をより円滑に進めるためには、令和6年5月に策定した「ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）における木造化・木質化の考え方を分かりやすく見える化することが重要であることからガイドラインを補足する資料として「ふくしま木造化・木質化建築資料集成」（以下、「資料集成」という。）を作成する。

○令和7年度実績**・ふくしま木造化・木質化推進事業**

ガイドラインが示す木造化・木質化の考え方を分かりやすく見える化することを目指し、ガイドラインを技術的・視覚的に補完する資料集成を作成し、令和7年7月に公表した。

また、中大規模建築物の木造化・木質化への取組を普及促進するため、「ふくしま木造化・木質化講習会」を県内7会場で開催した。



講習会開催写真



建築資料集成

○累計実績（令和4～令和7年度）

令和4年度	ガイドライン策定に向け、木造化・木質化の基本的な考え方や検討方法などの調査・検討を実施
令和5年度	ガイドラインを策定
令和6年度	資料集成を作成
令和7年度	「ふくしま木造化・木質化講習会」を県内7方部で開催

事業成果

木造化・木質化のメリット・効果等について、令和4年度は「木造化・木質化の良さ」として見える化する調査・検討、令和5年度はガイドラインを策定、令和6年度は資料集成を作成した。また、令和7年度は、ガイドラインの改訂、資料集成の公表や講習会を開催した。これらの取組により、全国的に実績が少ない中大規模木造建築等の取組を促進し、木材利用の拡大に寄与することができた。

施策の成果と課題

間伐材の搬出や路網整備への支援、民間住宅等へのペレットストーブ、薪ストーブ導入を支援することで、利用されずに森林内へ放置された間伐材等の活用につながった。

また、県産材を使った新築住宅への住宅ポイント制度の実施や新製品開発等への支援により、新たな県産材需要が創出されるなど、県産材利用の拡大や、木材産業をはじめとした地域経済の活性化に寄与した。

今後は主伐期を迎えた県内の豊富な森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」ことにより、森林環境の保全や森林の循環利用を進めるため、県産材需要を一層拡大させることが必要となっている。

3 県民参画の推進

(10) 林業普及推進事業

【森林計画課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林^{もり}づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い、理解促進を図る。

○令和7年度実績

・普及推進事業

令和7年10月25日（土）に開催された林業祭において、森林や林業、木材にふれあう各種イベントなどの実施により、森林・林業の役割やその重要性、林業という仕事の魅力について発信し、併せて震災からの復興と森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

・来場者：1,700名（R6実績：2,500名）



上棟式



ふくしま伐木チャンピオンシップ

○累計実績（平成22～令和7年度）

林業祭 H22～R7 来場者累計 42,200人（R3～R7 7,900人）

事業成果

令和7年度までに、ふくしま伐木チャンピオンシップやチェーンソーアートショー、ツリークライミング体験など従来から実施しているイベントに加え、製材工場の端材を利用したスクラップつみきや落ち葉、かんなくずを用いた森のプール、森の中で自由に絵が描ける森の美術館など親子連れで楽しめるイベントを多数開催した。

また、林業関係者だけでなく県民に広く興味を持っていただけるように、森のコンサートやティラノサウルスレースなど幅広いイベントを開催した。

これらの取組のほか、森林・林業の重要性や役割、林業の現状や魅力などを県民に対し発信するためのPR活動を実施したことにより、県民の森林・林業・緑化に対する意識が高まった。

(11) 森林環境学習の森整備事業

【森林計画課】

事業概要

全ての県民が、森林の公益的機能の重要性や林業の役割について学習し、森林とふれあうのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う。

○令和7年度実績

ア 森林学習フィールド整備事業

・県民の森 森林整備 間伐 0.27ha、刈り払い 0.27ha

（R6実績：県民の森看板撤去1基、緑化センター松くい虫被害木の伐採及びくん蒸処理12本、支障木処理19.0t、恩賜林下刈り0.8ha、諏訪の前県有林刈り払い3.29ha）



フィールド整備（間伐前）



フィールド整備（間伐後）

イ 全国植樹祭記念の森整備事業

令和 7 年実施なし

(R6 実績 植栽木の保育管理 11 本)

○累計実績（平成 23～令和 7 年度）

ア 森林学習フィールド整備事業（平成 28～令和 7 年度）

5 施設（県民の森、舟津県有林、諏訪の前県有林、恩賜林、緑化センター）

下刈り 6.68ha (R3～R7 3.78ha)、間伐 1.84ha (R3～R7 0.77ha)、除伐 2.95ha、主伐 1.00ha、遊歩道 186m、伐採及び地拵 1.00ha、刈り払い 3.56ha (R3～R7 3.56ha)、支障枝剪定 124m

イ 全国植樹祭記念の森整備事業（令和元～令和 7 年度）

森林整備 2 箇所 (R3～R7 2 箇所)

ウ 県有林フィールド整備事業（平成 23～平成 27 年度）

6 施設（県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林、青松ヶ浜県有林）

間伐、除伐、危険木除去等 30.59ha

木製手すり設置 58.2m 案内板等設置

木製階段 75 段 歩道工 282m 護岸補修 15.0m

エ 歩道バリアフリー化事業（平成 23～平成 26 年度）

2 施設（県民の森、緑化センター）

木質系チップ舗装歩道 330m

バリアフリー歩道 150m、木質舗装 211m²

事業成果

令和 7 年度までの森林学習フィールド整備事業により、県民の森等において森林整備を実施し、県民が安全に森林とふれあい・学習するためのフィールドを整備したことで、利用者の安全確保が図られ、森林・林業への理解の促進につながった。また、全国植樹祭記念の森整備事業により、お手植えの木やお手播きの木の育成を行ったことで、第 69 回全国植樹祭によって培われた森林づくりの理念の継承に寄与した。

(12) 森林(もり)づくり総合対策事業

【森林計画課】

事業概要

県民参加による森林づくり運動を推進するため、緑化推進活動を実施している森林ボランティア団体の活動支援や森林づくり活動の情報収集・提供等を行う森林ボランティアサポートセンターの運営、ボランティアによる緑化意識醸成指導者や森林づくりの技術指導者となる人材の育成講座等の実施、更には企業や NPO 等が行う森林づくり活動の支援を行う等、総合的な推進を図る。

○令和7年度実績

ア 未来へつなげよう豊かな森林^{もり}づくり事業

・森林ボランティアサポート事業

森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。

(ホームページアクセス件数(R7.4~R8.3) 2,287件)

(R6年度ホームページアクセス件数: 2,667件 対前年比: 85%)

・森林づくり指導者養成事業

森林の役割や重要性を広く県民に伝える「もりの案内人」や森林整備のスペシャリスト「グリーンフォレスター」を養成する講座を開催し、受講修了者を認定した。

・もりの案内人 講座受講者 24名、認定者 17名。

(R6実績: 講座受講者 31名、認定者 22名)

・グリーンフォレスター 講座受講者 3名、認定者 3名

(R6実績: 講座受講者 2名、認定者 2名)

・子ども里山教育支援事業

幼児期から森林に親しむ機会を創出するため、里山教育・自然保育活動を支援した。

保育施設等の体験活動 25回、検討会 5回、指導者研修会 3回

(R6実績: 保育施設等の体験活動 28回、検討会 4回、指導者研修会 3回)

・県民参画の森林(もり)づくり促進事業

森林づくりイベントの開催や森林ボランティアによる森林整備活動、緑化活動などを自主的に行う団体を支援した。

森林ボランティア団体等への支援 10団体 (R6実績: 11団体)

・里山の名木・鎮守の森診断事業

樹木医による樹勢診断 33件 (R6実績: 38件)

イ みんなで支えよう森森(もりもり)元気事業

企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備において、活動の支援を行うとともに企業等と森林づくりの協定を締結した。

新規協定締結 2件 (R6実績: 協定 1件)



森林づくり指導者養成事業(養成講座)



子ども里山教育支援事業(里山活動)

○累計実績(平成18~令和7年度)

ア 未来へつなげよう豊かな森林(もり)づくり事業

・森林ボランティアサポート事業(平成18~令和7年度)

ホームページアクセス件数 1,214,165件 (R3~R7: 235,833件)

・森林づくり指導者養成事業(平成18~令和7年度)

もりの案内人養成者数 (H18~R7年度)

392人(前身事業も含めた累計は677人) (R3~R7: 85人)

グリーンフォレスター養成事業 (H30~R7年度)

(旧名称 森林ボランティアリーダー育成事業) (平成18~平成29年度)

グリーンフォレスター認定者 71人(前身事業も含めた累計は142人)

(R3~R7: 19人)

・子ども里山教育支援事業(令和2~令和7年度)

※下記の実績はR3~7のもの(R2はアンケート実施のみ)

保育施設等の体験活動 108回、検討会 13回、指導者研修会 11回

・県民参画の森林(もり)づくり促進事業(令和4~令和7年度)

森林ボランティア団体等への支援 56団体

・里山の名木・鎮守の森診断事業（令和4～令和7年度）

樹木医による樹勢診断 149 件

・森林ボランティア団体活動推進事業（平成18～令和3年度）

森林ボランティア団体支援 199 団体（R3：7 団体）

イ みんなで支えよう森森（もりもり）元気事業（平成29～令和7年度）

（旧名称 カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業）（平成22～28年度）

森林づくり活動協定締結 41 件 62.8ha（R7 までの実績）（R3～R7：5 件 2,594ha）

事業成果

令和7年度までの未来へつなげよう豊かな森林づくり事業やみんなで支えよう森森元気事業により、県内各地域において自主的に森林整備を実施している森林ボランティア等の活動を支援し、県民参加による森林づくり運動の推進と森林づくりに対する意識の醸成が図られた。

(13) 県立学校における森林環境学習推進事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する。

○令和7年度実績

・県立学校における森林環境学習推進事業

実施校数 会津農林高校ほか 計 10 校 人数 460 名（R6 実績：10 校 427 名）

＜取組事例＞

ツリーイング体験やニホンミツバチの利用等を通して、南会津地域の自然環境を構成する中心であり、長く暮らしを支えてきた木に対する興味・関心を深めることができた。これらの活動成果をまとめ、学校のnoteへ掲載し、農林水産省主催の「みどり戦略学生チャレンジ」へ応募している。（南会津高校）

白河市天狗山で地域の方々と協力して、レンジショウマの保護活動に取り組んでいく。この活動をまとめ、各種大会で発表し、NHKのニュースや新聞等で報道された。（修明高校）



修明高等学校活動写真



南会津高等学校活動写真

○累計実績（平成18～令和7年度）

・実施校数 H18～R7 延べ 158 校（R3～R7：49 校）

事業成果

令和7年度までに、森林関係の講師を招聘した学習、伐採作業や枝打ち体験など森林の保全に関する学習、間伐材や森林資源の活用に関する学習、山野草の移植を通して地域の森林の再生を図るなど環境保護に関する学習などの事業を実施した。

将来を担う高校生等が森林の大切さを理解し、森林を守り育てる意識を高めるとともに、家庭や地域に理解を広げる効果が図られた。

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信を図る。

○令和7年度実績

ア 森林環境情報発信事業

① 森林環境情報の発信

ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備や県産材の利活用、森林づくりの推進などについて発信した。また、森林認証制度の普及、及び林業事業体の認証取得に向けた取組を支援した。

- ・森林環境学習下敷き作成 4,000枚 (R6実績: 10,000枚)
- ・ふくしま森林づくり県民税PRパンフレット作成 14,500部
- ・ふくしま森林づくり県民税PR木製マグネット作成 300個

② 森林認証及び森林クレジット活用の普及推進

森林認証取得・継続補助事業体数 9事業体 (R6実績: 8事業体)
J-クレジット制度の普及に係る周知説明会 2回 (R6実績: 1回)

イ 若者の森林自己学習支援事業

県内の大学等におけるサークル活動など、グループによる森林に関する自己学習を支援した。

実施団体: 森林自己学習取組学生グループ 4団体 (R6実績: 4団体)
福島大学農林サークル (福島大学) ほか3団体



情報発信資材



成果発表会 (ポスター展示)



成果発表会 (口頭発表)

○累計実績 (平成25～令和7年度)

ア 森林環境情報発信事業

① 森林環境情報の発信 (平成25～令和7年度)

- ・新聞記事掲載 7回

- ・県政広報テレビ放映 10 回
- ・テレビ・ラジオCM 合計 706 回 (R3～R7 : 12 回)
- ・森林環境税 PR パンフレット、ポスター作成
合計 パンフレット 248,000 部、ポスター 6,800 枚
(R3～R7 : パンフレット 32,000 部)
- ・木のよさ PR パンフレット 15,000 部 (R3～R7 : 15,000 部)
- ・森林環境税 PR 鉛筆 5,800 セット (R3～R7 : 950 セット)
- ・森林環境税 PR しおり 350 個 (R3～R7 : 350 個)
- ・森林環境税 PR 割箸 3,000 セット
- ・森林環境学習下敷き作成 72,000 枚 (R3～R7 : 54,000 枚)
- ・森林環境税 PR コースター 1,290 個 (R3～R7 : 840 個)
- ・森林環境税 PR 動画作成 1 本 (R3～R7 : 1 本)
- ・ふくしま森林づくり県民税 PR パンフレット作成 14,500 部 (R3～R7 : 14,500 部)
- ・ふくしま森林づくり県民税 PR 木製マグネット作成 300 個 (R3～R7 : 300 個)

② 森林認証及び森林クレジット活用の普及推進 (平成 28～令和 7 年度)

- ・森林認証セミナー開催 3 回 (R3～R7 実績なし)
- ・森林認証取得コンサルティング 5 事業体 (R3～R7 1 事業体)
- ・森林認証取得・継続補助事業体数 58 事業体 (R3～R7 41 事業体)
- ・J-クレジット制度の普及に係る周知説明会 3 回 (R3～R7 3 回)

イ 若者の森林自己学習支援事業 (平成 28～令和 7 年度)

補助団体 : 49 団体 (R3～R7 27 団体)

ウ 森林づくり活動推進事業 (平成 25 年度)

森林づくり検討委員会開催 3 回 委員 7 名

「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ (H25. 12. 20)

エ 森林づくり県民運動推進事業 (平成 26～30 年度)

森林づくり活動ワークショップ 3 か所

シンポジウム 2 か所

全国植樹祭 PR 活動 84 箇所

全国植樹祭連携イベント 32 箇所

苗木のスクールステイ 県内小学校 131 校

苗木のホームステイ 個人世帯 73 世帯、企業団体 90 団体

事業成果

令和 7 年度までに、新聞広告や県民へのパンフレット等の配布により、本県の森林の概要や良さ、森林林業に関する取組など森林環境に関する情報を発信することで、ふくしまの森林に関する関心と理解の拡大により、県民参加による森林づくりをさらに加速させることができた。

また、森林認証取得支援や J-クレジット制度の周知説明会の開催により、制度の普及が図られた。

(15) 森林・水循環推進事業

【土地水対策室】

事業概要

健全な水環境を推進するため、県内流域において森林・水環境教育等を実践するための各流域の特色ある森林・水資源等を生かした相互交流・体験の機会を創出する。

○令和7年度実績

・森林・水環境推進事業

森林・水資源等を活かした相互交流会の開催

福島県水環境活動交流会

1回、参加者 52名

交流行事

2回、参加者 163名

流域水循環に関する協議の場の開催 1回、参加者 26名

(R6実績：合計9回、参加者444名)



交流行事

○累計実績（平成28～令和7年度）

・森林・水資源等を活かした相互交流会の開催

福島県水環境活動交流会

9回 479名、(R3～7：4回、参加者 251名)

交流行事、体験ツアー

22回 793名 (R3～7：15回、参加者 573名)

・流域水循環に関する協議の場の開催 26回 925名 (R3～7：8回、参加者 344名)

事業成果

令和7年度までに、森林・水資源を生かした相互交流会等を開催し、第3期の参加者数（平成28年～令和2年度で合計680名）に対して、第4期（令和3～令和7年度）の交流行事参加者は合計824名まで増加した。

交流行事等への参加者は、コロナ禍を除き継続的に増加しており、森林づくりの必要性への理解が広がり、森林・水環境保全の推進が図られた。

(16) ふくしま植樹祭開催事業

【森林計画課】

事業概要

全国植樹祭の開催理念を継承して、ふくしまの美しい緑と心が、未来も豊かでありつづけるよう人と人との繋がりや、森林と人との絆を深める循環の理念に基づく森林づくりを行う。

○令和7年度実績

・ふくしま植樹祭開催事業

小野町の小野公園において、約300名が参加して植樹活動及び育樹活動を行った。

植栽本数 約1,000本、育樹活動 サクラの剪定 60本



植樹祭記念写真

○累計実績（令和2～令和7年度）

- ・令和2年度 中止
- ・令和3年度 植栽本数 8,200本
- ・令和4年度 植栽本数 500本、萌芽整理 面積 約1.0ha
- ・令和5年度 植栽本数 2,500本、緩衝帯整備 約0.35ha
- ・令和6年度 植栽本数 2,900本、除伐 約0.8ha
- ・令和7年度 植栽本数 1,000本、サクラの剪定 約60本
- (R3～R7 植栽本数 15,100本、育樹活動 約2.15ha)

事業成果

令和7年度までに、ふくしま植樹祭を開催し、約3,000名にも及ぶ参加者と共に森林と人との絆を深める循環の理念に基づく森林づくりを行い、全国植樹祭の開催理念の継承が図られた。

(17) 森林環境教育支援事業

【森林計画課】

事業概要

小・中学校を対象とした森林環境教育を支援するため、森林環境教育実施施設の情報発信を行い、県民の森林を守り育てる意識の醸成を図る。

○令和7年度実績

・森林環境教育支援事業

ポータルサイトによる情報発信のほか、ポータルサイトの掲載内容の更新及びPRチラシの作成を行った。また、森林環境教育実践者を対象とした研修会を実施した。



ワーキンググループ



森林環境教育実践者研修会

○累計実績（令和2～令和7年度）

- ・県内教育機関の森林環境教育に関する意見や要望の調査(R2)
- ・小学校における森林環境学習の事例作成 3パターン(R3)
- ・県内の森林環境教育施設における事例調査を実施し、森林環境教育に係る情報発信のためのポータルサイトを作成した。(R4)
- ・掲載施設及び「利用者の声」の追加。(R5)
- ・施設マップの追加及び森林環境教育照会動画の追加(R6)
- ・ポータルサイトのPRチラシ作成・情報発信(R7)

事業成果

令和7年度までに、ポータルサイトを開設し、その内容を充実させることで、森林環境教育実施施設等の関係情報をより分かりやすく発信することができ、森林環境教育の取組拡大につながった。

(18) ふくしまの生物多様性保全支援事業

【自然保護課】

事業概要

森林整備の重要性について、生物多様性保全及び持続可能な利用の観点から県民等へ普及啓発を実施し、福島県の豊かな森林環境の保全に繋げる。

○令和7年度実績

・森林等の生物多様性調査発信事業

県内の森林等に生息する希少野生動植物の生息状況を調査し、レッドデータブックふくしま改訂に伴うデータの収集、整理を行った。また、生物多様性保全の観点から見た森林整備の重要性や森林等の持つ生物多様性保全機能について、広く県民に対し普及啓発を行う講習会を開催した。

実施内容 普及啓発イベント（クマの生態と野外調査時の安全管理 等） 1回

希少野生動植物調査

○累計実績（令和5～令和7年度）

- ・県内の森林等に生息する希少野生動植物の生育情報の調査
- ・森林整備の重要性や森林等の持つ生物多様性保全機能について、広く県民に対し普及啓発を行う講習会の開催。
- ・普及啓発用の資料作成（HPへ公表予定）

事業成果

令和7年度までに、県内の森林等に生息する希少野生動植物の生息状況を調査し、データの収集及び森林環境や森林整備との関係における重要性について、普及啓発を行い意識醸成が図られた。

施策の成果と課題

森林環境学習や植樹活動等の様々なイベントを通じて森林づくりの大切さや森林環境保全への意識が醸成された。

今後も継続して森林を県民全体で支える意識を醸成するため、森林ボランティア団体や企業などの森林づくりを支援するとともに、幼少期から高齢の方に至るまで、広い世代が参加する森林づくり意識醸成活動や森林環境学習等の機会を提供することが必要である。

4 市町村が行う森林づくり等の推進

(19) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。

○令和7年度実績

・森林環境基本枠

59 市町村 (R6 実績 : 59 市町村)

① 県民参画の推進 37 市町村 (R6 実績 : 39 市町村)

県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等

・木工クラフト教室 (田村市) 等

② 森林の適正管理推進 50 市町村 (R6 実績 : 50 市町村)

森林整備のための協定締結、現地調査・測量、森林情報システムの委託

・柳津森林公園森林デザイン作成 (柳津町) 等

③ 森林環境学習の推進 59 市町村 (R6 実績 : 59 市町村)

森林環境学習実施校 小学校 262 校、中学校 86 校、計 348 校 全 588 校の 59%

(R6 実績 : 小学校 267 校、中学校 84 校、計 351 校 全 593 校の 59%)

人数 小学校 19,168 人 中学校 5,641 人 計 24,809 人 (全 123,872 人の 20%)

(R6 実績 : 小学校 21,015 人、中学校 5,023 人、計 26,038 人)

(全 126,564 人の 21%)

・木工クラフト体験、自然観察等 (いわき市)

④ 森林整備の推進 35 市町村、90ha (R6 実績 : 37 市町村、93ha)

間伐、野生生物との共生林整備、等

・野生生物との棲み分けを図る緩衝帯の整備 46ha12 市町村

(R6 実績 : 47ha11 町村)



森林環境学習の推進 (スノーハイク・檜枝岐村)



森林整備の推進 (ヤマザクラ育樹管理・南会津町)

・地域提案重点枠

15 市町村、29 件 (R6 実績 : 18 市町村、31 件)

① 県産材の利活用推進 14 市町村、26 件 (R6 実績 : 16 市町村、27 件)

小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机・椅子等の導入、など

・桜の聖母学院小中学校 木製下駄箱・ベンチ導入 (福島市) 等

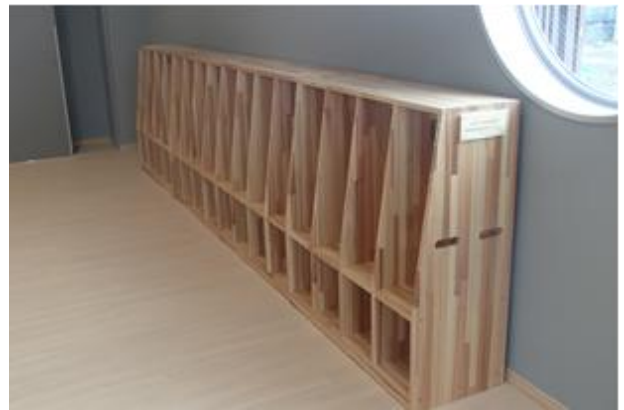
② 木質バイオマスの利活用推進 実施なし (R6 実績 : なし)

③ その他 3 市町村 3 件 (R6 実績 : 4 市町村、4 件)

遊歩道橋整備 (大玉村) など



旧給食センター車庫新設（柳津町）



木製ロッカーの導入（会津若松市）

○累計実績（平成 18～令和 7 年度）

・森林環境基本枠

①県民参画の推進実施	H18～R7	53 市町村（R3～R7 46 市町村）
②森林の適正管理実施	H18～R7	54 市町村（R3～R7 52 市町村）
③森林環境学習実施	H18～R7	全 59 市町村 延べ 7,370 校 （R3～R7 全 59 市町村 延べ 1,795 校）
④森林整備実施	H23～R7	53 市町村、間伐、危険木除去等 1,631ha （R3～R7 43 市町村 延べ 472ha）

・地域提案重点枠

①森林整備実施	H18～H22	47 市町村 210 件（間伐等 1,087ha）
②県産材の利活用推進実施	H18～R7	55 市町村 667 件 （R3～R7 29 市町村 142 件）
③木質バイオマスの利活用推進実施	H18～R7	28 市町村 90 件 （ペレットストーブ 284 台 薪ストーブ 10 台） （R3～R7 4 市町 6 件（ペレットストーブ 19 台））
④その他の取組実施	H18～R7	14 市町村 77 件 （漆の芸術祭、PTA 等による里山環境再生等） （R3～R7 6 市町村 21 件）

事業成果

令和 7 年度までに、市町村が県民参画や森林環境学習の推進、県産材の利活用推進や木質バイオマスの利活用推進などに取り組み、市町村との連携のもと、県民一人一人が参画する森林づくりを効果的に進めることができた。

施策の成果と課題

市町村が実施する森林環境交付金事業により、県内において森林環境学習に取り組む小中学校は令和 3 年度から令和 7 年度の 5 年間で年平均約 360 校で推移するなど、取組が定着しつつある。

また、市町村独自のアイデアによる、住民を対象とした森林学習や地域の森林整備、住民に身近な公共施設等の木造化・内装木質化、こども園への木製遊具の導入等により、地域住民の森林や林業、木材に触れる機会が多くなった。

国の林環境譲与税を活用した取組が進められている状況も踏まえると、これまでの交付金事業を見直して、森林環境学習や地域の特色ある森林づくり、木育など、市町村が求める独自性を持った取組を柔軟に支援することが必要となっている。

5 ふくしまの森林文化の継承

(20) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人との絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う。

○令和7年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業 【森林計画課】

森林文化記録映像 1本（R6実績：2本）

森林文化公開体験イベントの開催 体験プログラム 3回（R6実績：5回）

出前講座 3回（R6実績：5回）

・森からエール！めぐみ再発見事業 【林業振興課】

桐や漆、きのこといった森の恵みに関する地域の産業振興や県民等の理解を深める取組を行った。

- ・漆栽培現地検討会（会津若松市） 22名
- ・桐玉植苗植樹祭（西会津町） 57名
- ・ほんしめじ福島 H106号生産支援 菌床 4,725販売
- ・ほんしめじ福島 H106号生産指導 現地指導 21回
- ・野生きのこ菌株の収集 50種

- （R6実績：・漆栽培現地検討会（会津若松市、喜多方市） 16名
- ・需要拡大に向けた講演会（喜多方市） 10名
 - ・漆関連施設視察研修会（会津若松市） 9名
 - ・漆の意見交換会（喜多方市） 8名
 - ・桐玉植苗植樹祭（西会津町） 20名
 - ・桐植栽地視察・交流（群馬県） 9名
 - ・ほんしめじ福島 H106号生産支援 菌床 5,310販売
 - ・ほんしめじ福島 H106号生産指導 現地指導 21回
 - ・野生きのこ菌株の収集 50種）



桐玉植苗植樹祭



ふくふくしめじ

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～令和元、R2はコロナウイルス感染拡大防止のため中止、令和3～7年度）

森林文化公開体験イベント開催 H24～H27, H29～R7 39回（R3～R7：23回）

森林文化調査カード公開 H24～H28 125件（H18からの累計実績175件）

森林文化記録映像公開 H18～R7 31本（R3～R7：9本）

森林文化出前講座 H30～R7 25回（R3～R7：15回）

・森からエール！めぐみ再発見事業（平成25～令和7年度）

伝承文化継承イベント開催 H25～R7 27回 参加者1,051名
（R3～R7 5回 159名）

伝承文化継承研修会 H28～R7 57回 参加者404名（R3～R7 18回 221名）

野生きのこ料理教室・試食会 H28～R2 8回 参加者383名

技術開発 H28～R2 5件

事業成果

- ・令和7年度までに、ふくしまの森林文化継承事業により作成した調査カードや森林文化記録映像は、ホームページでの公開や森林文化体験イベントの実施等で活用され、ふくしまの森林文化を広く発信し、県民への普及PRが図られた。
 - ・令和7年度までに、森からエール！めぐみ再発見事業により、桐の栽培者や漆掻き職人の育成、桐の玉植苗の植樹を行うことで、次世代への知識や技術の伝承に寄与した。
- また、野生きのこの人工栽培に成功した福島県オリジナル品種「ほんしめじ（愛称：ふくふくしめじ）」の栽培指導を行い、周知することで、野生きのこに関する食文化の理解・継承に対する意識醸成に寄与した。
- さらに、特用林産物を利用した機能性の高い製品の開発により、県産特用林産物の魅力や新たな利用方法について、幅広い世代に周知することができた。

施策の成果と課題

先人たちが培ってきた本県の森林文化を記録に残し、広く県民へ公開するとともに、出前講座でその技術を県民に広く知ってもらうことができた。漆や桐の栽培等に関する研修会や意見交換会の開催により、技術者の育成が図られ、また、本県オリジナル品種「ふくふくしめじ」について、生産者の栽培支援により、栽培者数の増加につながった。

先人たちが、生活を通じた森林との関わりの中で育み、郷土に受け継がれてきた貴重な森林の文化や木の文化を、県民の財産として次世代に引き継いでいくための取組を進めることが重要であり、引き続き、地域に残る森林文化を記録し保存するとともに、一般県民へ継承する取組が必要である。

6 森林環境基金の運営

(21) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を考える懇談会」を運営する。

○令和7年度実績

・森林の未来を考える懇談会運営事業

森林の未来を考える懇談会を2回開催した。（R6実績：3回開催）

第1回（令和7年10月9日）

- （1）森林の未来を考える懇談会の役割について
- （2）令和6年度森林環境基金事業の実績及び令和7年度実施計画について
- （3）令和8年度以降の福島県森林環境税の在り方の検討について
- （4）令和8年度以降のふくしま森林づくり県民税を活用した取組について

第2回（令和8年3月23日）

- （1）第5期ふくしま森林づくり県民税を活用した取組について
- （2）令和8年度森林環境基金事業の実施について

・福島県森林環境税に関する声を聴く事業

福島県森林環境税新名称検討委員会の設置

（R6実績：県民アンケート、タウンミーティングの実施）

○累計実績（平成 18～令和 7 年度）

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（平成 18～令和 7 年度）
懇談会開催 H18～R7 67 回（R3～R7 14 回）
- ・福島県森林環境税に関する声を聴く事業（平成 18～令和 7 年度）
県民アンケート実施 H21～R7 4 回（R3～R7 1 回）
タウンミーティング H21～R7 参加者延べ 1,293 名（R3～R7 205 名）
新名称検討委員会設置 R7
- ・森林環境税関連施策検討事業（平成 24～平成 25 年度）
森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2 回 発表題数 16 題

事業成果

令和 7 年度までに、委員 10 名で構成する「森林の未来を考える懇談会」を 67 回開催し、取組に対する意見や評価等について検討していただくことで、県民の参画と透明性を確保することができた。

(22) 森林審議会【森林計画課】

【森林計画課】

事業概要

福島県森林環境税の在り方について、意見聴取するため、森林審議会を開催する。

○令和 7 年度実績

森林林議会 開催回数 1 回（R6 実績：3 回開催）

第 1 回（令和 7 年 4 月 23 日）

- ・「令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方について」審議し、答申された。

事業成果

令和 7 年度までに 4 回の森林審議会を開催し、「令和 8 年度以降の福島県森林環境税の在り方について」諮問を行い審議いただいた。この結果、税の継続や現行の主要施策の継続等を内容とする答申を受けた。

施策の成果と課題

森林の未来を考える懇談会において、福島県森林環境税を財源とする取組に対する幅広い意見聴取や評価がなされており、事業の適正な執行と透明性確保が図られています。

また、「福島県森林環境税を活用した取組に対する意見」が取りまとめられ、福島県森林環境税制度の運営において大きな役割を果たした。

今後も福島県森林環境税を活用した取組の透明性・平等性を確保するため、森林の未来を考える懇談会から評価を受けるとともに、全ての県民の森林環境基金制度の理解促進を図るため、広報活動を強化する必要がある。